

福祉有償運送サービス事業

レインボーシャトルの紅一点ドライバーとして活躍中の、廣田かつよさんにお聞きしました。

—いつからレインボーシャトルのドライバーをされているのですか？

廣田) 平成30年8月に、運転技能講習を2日、ワンボックスカーによる運転技術講習を1日受講し、それから今日に至っています。

—ドライバーをと思った動機は？

廣田) ゆうゆうの里のデイサービスの見守りが終了になりフリーの時に運転の仕事があると聞きました。

—運転がお好きなんですか？

廣田) 運転は大好きで、同窓会が群馬県の高崎や前橋等でありますが、車で行き、付近の観光地を巡っています。

—この仕事をされているのご感想を？

廣田) お客様から、「話ができてスッキリした」等のお言葉を頂くことがあります。運転には緊張しつつ、今まで知らなかった佐倉の奥深い景色等も見ることができ、楽しみつつ仕事をしています。

—シルバー人材センターで他にどのような仕事をされてきましたか？

廣田) ゆうゆうの里でのデイサービスの見守り、訪問介護サービスで個人の方の散歩や個人のお宅の手伝い等をしました。

—病院でのボランティア活動もされているとお聞きしましたが？

廣田) 親を見送り家に居りましたら言葉が出てこなくなり、びっくりして社会福祉協議会に行き紹介して貰い、聖隷病院で週1回、談話室のテーブルなどに花を挿すボランティアを8年余り続けています。他にも愛光で作業の仕上げのお手伝いをしています。

取材担当/広報委員長 長田 成兒

志津コミセン清掃就業

自慢のチームワークで多くの清掃箇所に対応しています

現在、女性会員6名が従事しており、内3名が三交代制で朝8時から夕方17時過ぎまで勤務しています。この施設は、大ホール、大小会議室、集会室、図書室、遊戯室と多岐にわたり、お手洗いや通路を含むと20以上の清掃箇所があります。休館日を除いては毎日時間に追われながらの清掃業務です。

勿論、施設から様々な要求はありますが、メンバーがその都度ミーティングを行い速やかに解決することができるチームワークが自慢です。又、こちらからの要望は、事務局の援助を頂きながらも施設の反応が早く助かっています。

今のメンバーは1年から2年に渡り携わっていますが、住まいが近隣でもあり働きやすい環境です。共同作業の秘訣は、皆が協力し合って仲良くやれば長続きします。それと、気付いたことはお互いに話し合うことです。今一番の悩みは、この仕事の人手不足です。是非ご一緒しませんか。



北館 八重子様、山本 富子様からお話を伺いました。
取材担当/広報委員 葛西 正敏

訪問介護事業

サービス提供責任者として

訪問介護事業所 蔵原 怜子

サービス提供責任者としての職務を頂き、三年目を迎えました。現在登録して頂いている30名のヘルパーさんと共に、利用者様を通して、生きることへの喜び、楽しさ、大変さを実感しています。「心にゆとりを持つことが最大の武器」、これが、この仕事に携わる上での私の信条です。

利用者様から投げられる、直球あるいは様々な変化球を受け止め、どのように対応させていただくか、ヘルパーさんと共に考え、お知恵を拝借し、よりベストな方向へ持って行けるよう努力をしているところです。

要支援の方が80パーセント、要介護の方が20パーセントと、比較のお元気な方が多いのは幸いですが、今夏の猛暑、様々な出来事がありました。その度に、情報をキャッチし、ケアマネへ伝え、家族へ伝え、ヘルパーさんへ伝えます。一歩立ち止まり、何がベストか？と考え、今日はどう出来たかな？と、胸をなで下ろしたり、反省したりと、そのレベルです。

気が付けば、意外にも楽しく仕事をさせて頂いている私がいいます。微力ですがこれからも頑張ります。今後とも宜しくお願いいたします。



高齢者福祉作業所の講師紹介

レインボープラザ佐倉103教室で開催されている「シルバーいきがいマイスター講座」【高齢者福祉作業所】の講師として活躍されている、「藤工芸」の長峰俊子会員と、「七宝工芸」の小川孝子会員をご紹介します



【ホームページ】

この講座は、37年続いており、長峰先生は初年度から講師として指導されています。毎年、受講生が入学し、2年間で終了ですが、その後も研鑽を積まれる方々への指導もされているので超多忙とのこと。しかし、ご自身のOFFとして、「竹工芸」で毎年県展に挑戦されています。

小川先生は、「七宝」命だそうです。この道40年、この講座を25年間指導されています。あるとき、お止めになろうとしたそうですが、師事していた方からのアドバイスで今日があるとのことでした。

受講生はもとより、両先生にとってもその効能は「仲間作り」「生きがい」「手と頭を使い認知症予防」だそうです。また、フェスタでの売り上げにも多大の貢献をされています。数多くの生徒さんに慕われる両先生でした。

「高齢者福祉作業所」の詳細は、上のQRコードで佐倉市のホームページをご覧ください。

取材担当/広報副委員長 岩淵 功



「生きいき女性」の活躍をご紹介します！
活躍する女性会員

手工芸同好会「なごみの会」紹介

和やかに手工芸に取り組む、若々しいシニアの同好会です

手工芸同好会(志津)は別称「なごみの会」と言い、なごんだ雰囲気の中にしたいという趣旨から「なごむ」を会の名前につけたそうです。同会は毎月第2・第4水曜に中志津の志津荘に集まり、午前10時から午後4時まで活動しています。現在の会員数は68歳から95歳までの13名で、皆さん若々しい方ばかりでした。越川圭子さんが

代表を務めています。また、会の歴史は古く、平成4年にその前身が発足以来、今年で27年の歴史があります。

会の主な活動目的は、日頃から各個人で作った刺繍・マフラー・帽子・財布等の手工芸作品を「シルバーフェスタ」、「角栄まつり」、「西志津 河津桜まつり」に出品・販売することです。個人差はあるものの、一人で年間50から60点を作成し、売り上げは各個人の材料費などに充てています。



取材前には、皆さん脳目もふらずに作品を作っているのかと思っていました。しかし、意外にもなごやかな雰囲気の中で、皆さんはおしゃべりをしたり、お菓子を食べたりして、作っていました。そこで、漸く会の名前の由来がわかった気がしました。

また、皆さんはもともと物を作ることが好きな方たちなので、作品は主に各自が家庭でそれぞれ作り、作り方がわからなかった時には他の人から教わり、また自分が得意の物は他の人に教えたりして、お互いに教え合っ作品のレパートリーを徐々に増やしていったということです。

なごやかな雰囲気の中で、皆さんはこつこつと作業をされ、また、生き生きとした活動をされ、若々しいシニアという感じでした。

なお、手工芸同好会は佐倉地区にもあり、会員は10名で足立さんが代表を務めています。

取材担当/広報委員 田端 直樹



【動画】



上のQRコードを読み取ると、(公社)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

特集

女性会員比率を

高めるために

サポート事業分科会
委員長 高橋 豊明

女性会員比率を高めるといふことは、とりもなおさず、女性会員をもっと増やそう、ということなのです。

そのための方策の一つとして、先進的なセンターの取り組みなどを参考に、対象者を女性に限定した入会説明会『女性限定就業相談会』を行うことにしました。

女性だけの就業相談会は、女性が気兼ねなく参加でき、主催側にも女性会員がいることで、センターのこと、就労体験や同好会のことなど、なんでも気軽に話せることから、女性にやさしい入会説明会といえます。

サポート事業分科会のメンバーは、全員男性(※)のため女性理事の応援をお願いしました。

この取り組みは、昨年度は試行的に行なったものですが、今年度は正規のスケジュールで年四回の予定で実施しているところです。

(※)8月27日開催の理事会で、女性委員3名の補充が承認されました。(広報委員会付記)



女性組織の設置方針を事業計画に

サポート事業分科会は、新年度の事業計画を検討する中で、『女性のための説明会を女性だけで行う』こと、『女性の関心が高いテーマ(美容や健康、ファッションや趣味など)の講座と結びつけた内容での開催』などを目指したいと考えました。

そのためには、女性会員が主体的に活動できる場が必要だということになり、女性組織の設置を事業計画に盛り込むことにし、その方針が本年二月の理事会で議決され、五月の定期総会で報告されました。その部分は以下のような内容になっています。

令和元年度 事業実施計画

- 一、会員の拡充と女性組織の設置及び研修の充実
 - 二、女性組織の設置を目指す取り組みの推進
- 会員の持続的拡大を進めていくうえで、センターのイメージアップは重要な要素です。女性会員が生き生きと活躍し、活動の幅が広がることにより、魅力あるセンターづくりが進むことが期待されます。そのため女性会員の交流と活動の場として、女性組織の設置をめぐります。
- 令和元年度 事業計画の抜粋

会員拡大と就労先開拓の二課題を担当する委員会として、昨年度に新設されたサポート事業分科会は、会員拡大の取り組みの中で、『女性会員比率を高める』ことを重視しました。

年内を目途に女性委員会(仮称)の設置を

七月九日の分科会の会合に、女性理事、理事経験者、事務職員として活躍されている女性会員の皆さんに参加していただき、女性組織を作ることについての意見を聞きました。

参加者からは、『女性組織があると良い』『入ったらやめられないようなシルバーにしたい』『女性はおしゃれに興味があり、若々しく綺麗にしたい』など多くの前向きな意見が出されました。

今後、立ち上げに協力していただける女性会員の募集などを行い、年内の設置をめざして準備を進めていくことにしています。会員の皆さん、ご協力よろしくお願ひします。



最初の驚き!

女性がほとんどかと思いきや全く違いました! 現在は、会員は十三名、うち男性が十一名で熱気がムンムンしているのに驚き、更に、いきなりお面を付けて踊りだしたのです!

ばか面おどり

同会は「ばか面おどり」を継承しながら、十五年の歴史を有しています。このおどりは、怒り面や笑い面、オカメ、ヒョットコの四面で、可笑しみを持たせた伝統的な郷土芸能です。各自思い思いに踊っているように見えますが、面白おかしさを表現しています。足腰の鍛錬にはもってこいのおどりで。

和踊りにも参加しています

年に二回、シルバークエスト(五月)と、臼井ふるさとにぎわい祭り(八月)に参加し、一般の踊り愛好家の皆さんと共に、和踊りを楽しんでいます。

おどるバー

これは、同会の愛称です。堅苦しいことは抜きにして、踊り好きな方が集まって、美容と健康増進のため、楽しく過ごしています。一度見字に来てください。きっと踊りたくなりますよ。ご参加をお待ちしております。

以上、松元富士吉会長からお話を伺いました。取材担当/広報委員 葛西 正敏

▼毎月第一日曜日 午後一時から三時まで、志津市民プラザで開催しています。▼初心者の方大歓迎です。▼見学・入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。



練習の様子はスマホでご覧下さい



【動画】

私の職場③

有限会社 ドリー夢
高橋 満 (取材担当/広報委員)

「ありがとう」「お疲れさま」が行き交う、心地いい職場 介護事業所「きこえ」は、「介護が必要になっても住み慣れた町で暮らし、家族や親しい人たちと共に心地よい生活を送りたい」そんな利用者のための、地域に密着した多機能のケア施設です。

「きこえ」は、染井野の住宅地から少し離れた閑静な所にあります。通りを挟んだ七井戸公園はいつも手入れされ、地域の人々のよき散策の場でもあります。この美しい癒しの空間に隣接する「きこえ」では、施設ではたらく人達が何気なく交わす、「ありがとう」「お疲れさま」が印象的。介護サービス施設ならではの優しさ、思いやる気持ちに溢れた職場です。

人材センターからは8名が就業しています。私は朝夕2度の勤務でショートステイご利用の方の送迎をしています。ここで働くシルバー会員は、各々の立場で、介護に携わる業務のサポートが仕事です。



下のQRコードから、介護事業書「きこえ」のホームページをご覧になれます。佐倉市染井野4-5-4 ☎043-460-5630

きこえ



【ホームページ】

記事の内容を、動画でお届けしています

ハローシニア佐倉 8月号より)



新広報委員会では、掲載される記事に加え、解り易く動画を添えて配信することとしました。記事毎に掲載されるQRコードを、スマホなどで読み取り、動画をお楽しみください。



【動画】